

まるでナシのように果肉がシャキッとした食感の甘柿<sup>たいしゅう</sup>「太秋」。  
果実は大きく、甘くて果汁たっぷり。一度食べると忘れられない。

### 「太秋」(カキ)

#### ○特 徴：

ナシのようなシャキッとした食感で果汁が多く、とても美味しい。果実は400g程度と大きく、果皮は黄色を帯びた淡褐色。

果実に条紋と呼ばれる微小な亀裂があっても糖度の高い証拠。栽培が難しいので生産量の少ない希少なカキ。

ビタミンCが豊富で古来、「柿が赤くなると医者は青くなる」と言われている。



#### ○食べ方：

シャキッとした食感を楽しむため、皮をむいてそのまま食べるのが美味しい。果実は大きいので家族で分けて食べるのがお薦め。



#### ○来 歴：

(独)農研機構果樹研究所で「富有<sup>ふゆう</sup>」との交配により育成され、平成7年に品種登録。紀の川市では平成10年頃から栽培が始まり、栽培面積は2haと少ない。

○旬：10月中旬～下旬

○産 地：紀の川市

○生産量：8.6t (H25年度)

○問い合わせ先：JA紀の里 (代表 0736-77-7801)

○出荷期間：10月中旬～下旬

○販売単位：2kg/箱

